

2018年7月19日

## 青函共用走行区間の保守工事に伴う北海道新幹線等の運行計画について

弊社では、青函トンネルを含む青函共用走行区間において、旅客列車及び貨物列車の運転時刻を調整し、レールや架線などの保守検査・工事を行います。

そのため、2018年9月1日から当面の間、北海道新幹線等の一部列車について、運転時刻を変更しますのでお知らせいたします。

ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、列車を安全に運行するため着実に保守工事を進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 【運行計画】

#### 1. 新幹線列車

上り最終列車「はやて100号」は、2018年9月1日から毎日時刻を変更して運転いたします。

駅名	新函館北斗	木古内	奥津軽いまべつ	新青森
現行	21:59発	22:12発	22:50発	23:05着
9月1日以降	21:54発	22:10発	22:50発	23:05着

※「はやて100号」は、新函館北斗駅が5分、木古内駅が2分、発車時刻が繰り上げとなります。

#### 2. 特急列車

札幌～函館間を運転する特急列車「スーパー北斗」の一部で、概ね毎週土曜日と月曜日に最大6分程度の時刻変更を予定しております。

※日曜日においても変更する場合がございます。

※接続となる列車(新幹線含む)には影響はございません。

#### 3. 普通列車

函館線(長万部～函館間)・千歳線・室蘭線を運転する普通列車の一部で、概ね毎週土曜日と月曜日に最大35分程度の時刻変更を予定しております。

※日曜日においても変更する場合がございます。

※一部の普通列車においては、森駅から「スーパー北斗」、五稜郭駅から「道南いさりび鉄道」の列車に、接続できなくなる日がございます。

特急列車および普通列車の時刻や接続等につきましては、保守工事日にあわせて変更いたします。

ご利用の際には、時刻表、駅頭掲示およびホームページ等でご確認いただきますようお願いいたします。

## 1. 青函共用走行区間について

- 北海道新幹線は、新青森～新函館北斗間の約149kmのうち、青函トンネルを含む約82kmの区間が三線軌条という特別な線路構造になっており、新幹線と在来線貨物列車が同一の線路を走行する共用走行区間となっております。
- 新幹線と在来線が同一の軌道を使用し、特に夜間では多数の貨物列車が走行することから、短い作業時間の中で確実な保守作業を行う必要があります。
- 一方で、共用走行区間のなかには、昭和63年の在来線列車による海峡線開業時から使用されている経年30年以上の設備があり、さらには青函トンネル内における多湿、漏水などの環境条件により、日々の劣化が比較的進行しやすい状況にあります。



## 2. 共用走行区間で実施する主な保守工事

列車の安全・安定輸送を確保するために、共用走行区間の保守間合いを拡大して、保守工事を実施いたします。

[主な保守工事]

- 共用走行区間の上下線に各3本敷設されているレールのうち、経年による損傷、摩耗、腐食が顕著に発生している貨物専用（在来線）レールの交換
- 経年により摩耗が進行している新幹線や貨物列車に電力を供給する架線等の交換



【青函トンネル内のレール交換工事】



【青函トンネル内の架線交換工事】